

9 学力向上推進事業

昭和 59 年度から「魅力ある高校づくり推進事業」を、引き続いて昭和 63 年度から「特色ある高校づくり推進事業」を実施するなど、全人教育を基盤に据えながら、生徒の多様化に対応する教育を進め、平成 2 年度からは、「学力向上推進事業」を実施している。

また、義務教育における学力向上のための事業を平成 23 年度から実施している。

(1) 学力向上推進チーム会議

長野県の小中学校の学力向上に関する総合的な施策を立案し、関係機関と調整を取りながら、確かな学力の向上を図る。

ア 委員会の構成

教育次長、義務教育課教育幹及び主幹指導主事
教学指導課義務教育指導係長、主幹指導主事、主任指導主事、指導主事
総合教育センター教科教育部長、主任指導主事、心の支援室主任指導主事、
特別支援教育課主任指導主事、文化財・生涯学習課主任指導主事

イ 主な業務内容

- ・ 校長（教頭）の学校マネジメントに関する研修と情報提供
- ・ 教員の指導力向上に関する研修と情報提供
- ・ 全国学力・学習状況調査に関する情報提供

(2) 「未来を拓く学力」の向上推進事業（小・中学校対象）

ア 教員の指導力向上研修

- ・ 管理職マネジメント研修の実施
- ・ 全国学力・学習状況調査結果分析研修（分析と活用の方法を教育事務所単位で実施）
- ・ 授業スキル向上研修（校内研修への支援）
- ・ 校内研修の手引「校内研修アシストブック」の作成
- ・ 家庭学習の充実研修（教育事務所ごとに実施）

イ 学力向上のための P D C A サイクルづくり支援事業

児童生徒の学力向上をめざして、各校が指導改善に取り組む上で参考となる情報を提供することを通して、学力向上のための P D C A サイクルの確立を支援した。

- ・ 小学校 4 年（算）、5 年（国、算）と中学校 1 年（数）、2 年（国、数、英）を対象とした P 調査（4 月）・ C 調査（11 月）の実施
- ・ 学力向上担当ミーティング（6 月・1 月）研究主任、教科主任等対象
- ・ 授業改善支援資料の作成と配付
- ・ C E T（英語中核教員）養成研修

- ・ 小学校外国語活動を充実させるための資料の作成と配付

ウ クリア問題・チャレンジ問題の作成・活用

- ・ 委員によるクリア問題（主に知識・技能）・チャレンジ問題（主に活用）を毎月作成した。
- ・ 総合教育センターのホームページからのダウンロードによる活用が図られるよう、周知するとともに、活用事例などの情報提供を行った。

エ 理数教育充実支援事業

- ・ 小学校理科の観察・実験出前講習会の実施（小学校教員対象）
- ・ 一流講師に学ぶ理科の実験実技講習会の実施
- ・ 一流講師に学ぶこれからの科学教育の実施（高校生対象）

オ 学力向上推進チームによる検討、情報提供ほか

- ・ 長野県学力向上推進情報「わかる できる のびる 信州っ子」を校長・教頭を対象に発行した。
- ・ 学級づくり情報「笑顔で集まる学級づくり」を小中学校を対象に発行した。
- ・ 教頭通信「明日へのいっぽ」を発行した。
- ・ 学力向上推進プランによる目標達成型学校経営の推進を図った。
- ・ 学力向上授業支援教員モデル事業として、授業支援教員による授業公開や近隣校の要請に応じた授業作り支援を行った。
- ・ 中学校区単位の小中連携を基盤とした学力向上の情報提供を図った。
- ・ 全国学力学習状況調査をもとにしたリーフレットを作成し、小中学校の全教職員、保護者に配付した。

カ 調査研究

- ・ 情報化等の調査研究（P I C T委員会）
- ・ 少人数学級における学習指導、学級づくりのあり方を考える少人数学習指導研究

(3) 高等学校の実践内容

各学校の実態に即した学力向上のための実践が行われ、基礎学力の定着と伸びる力の伸長を図った。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ・ 教育課程の見直し | ・ 進学対策集中講座 | ・ 指導法の研究実践 |
| ・ 学習合宿の実施 | ・ 学習ソフト活用 | ・ 進路情報の活用 |

(4) 進路指導等研究協議会の実施

5月23日 総合教育センター 参加者 60人 対象者 高等学校進路指導主事